

## 第1回 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 議事要旨

1 開催日時：平成27年8月4日（火）午後2時00分～午後4時00分

2 開催場所：明治大学黒川農場 1階 会議室

3 出席者：[会長] 玉置農場長

[専門部会委員] 針谷委員、佐倉委員、山崎委員、梅澤委員、市川委員、杉山委員  
福井委員、鈴木委員、向坂委員、田村委員、草野委員

(欠席) 藤原委員、三谷委員、梶委員

(代理出席) 安藤委員

[事務局] 農産物等研究専門部会 農地課 倉課長、古山係長

地域活性化検討専門部会 企画課 井上課長、白石係長、山中係長

里地里山保全利活用専門部会 みどりの協働推進課 蛭田課長

コンサルタント((株)URリンケージ 正司主幹、遠藤副課長、古山主任)

### 4 専門部会の部会員について

(平成27年度に新規加入した部会員について事務局より報告)

- ・昨年度、協議会の活動について、地元の方から、地元に対する説明が不十分ではないか、地元の意見をきちんとふまえているのか、というご意見をいただいた。その後、関係者と地元の方との意見交換会を3回開催し、事業の説明をして、地元からのご意見、ご要望を聞いた。
- ・地元の方との意見交換会で、「3つの専門部会の中に、地元農業者を部会員としてもっと加えていくべきではないか」、というご意見をいただき、専門部会によって人数は異なるが、今年度から、2人から4人の地元農業者の方が新たに部会員として加わった。
- ・本日、協議会委員の皆様には事後承諾になるが、この場でご報告させていただく。

### 5 議 事：

#### (1) 「農と環境を活かしたまちづくり」について

- ・「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項、平成26年度の試行的取り組み事項(全体)、平成26年度の試行的取り組み概要(各専門部会)、第1回専門部会の概要と平成27年度の取り組み事項、今後の予定について、事務局より説明。

#### (2) 第1回専門部会の報告及び今年度の取り組みについて

##### 《各専門部会の座長及び事務局より第1回専門部会の報告》

##### ① 農産物等研究専門部会

- ・今年度は、地元農業者の方4名に、部会員として加わってもらい、専門部会を開催した。
- ・地元の方からは、明治大学の農場で、どのような取り組みを行っているのか、どのような専門の先生がいるのかわからないという意見があったため、地元と大学との交流の場を設けて、農場の紹介や意見交換などをしていきたい。
- ・農産加工品については、明治大学のリバティアカデミー(市民講座)の中に農産加工品につ

いての講座が2講座あるので、そこで、地元の方に講師を依頼する予定でいる。

- ・他に、農産物の栽培については、地元の農家の方の意見としては、珍しいものよりも、地元で栽培しやすいものの中で、栽培方法の工夫の仕方など、わりと地道なところから取り組んでいきたいという方向性の提案があった。

## ②地域活性化専門部会

- ・事務局が想定した以上に積極的なご意見をたくさんいただくことができた。例えば、里山アート制作では、地元の竹を活用して、広町特別緑地保全地区に設置すれば見栄えが良いのではないかと、言ったご意見。菜の花については、地元の意見交換会でも意見をいただいていたが、のらぼう菜を栽培して、花が咲いた風景などはすごくきれいで良いのではないかと、言うご意見などをいただいた。それらのご意見をふまえて、具体的に詰めていきながら秋に向けて取り組みを進めていきたいと考えている。
- ・8月1日（土）に先行して実施した、トマトとブルーベリーの収穫体験イベントについて簡単にご報告させていただく。今後取り組みを行うにあたってご意見をいただく「モニター」として20代から40代の女性限定で、明治大学黒川農場と川崎市農地課が管理する畑でトマトとブルーベリーの収穫体験を実施した。参加者からは好評で、非常に良いイベントとして印象づけられたのではないかと考えている。この場を借りて、イベントにご協力いただいた明治大学黒川農場、川崎市農地課、JAセレサ川崎（セレサモス）にお礼を申し上げつつ、報告とさせていただきます。

## ③里地里山保全利活用専門部会

- ・「①里地里山の体験・利活用」について、今年度は、少し参加者の人数を増やしていこうということで、参加者の人数を増やすのであれば、子どもたちに工作等を教える指導者の育成をして、指導者の数も増やしていかないといけないという意見が出た。
- ・「②里地里山の保全管理」については、里山のボランティア活動に参加している方や昨年度のアンケート結果で、里山の保全管理の活動をやってみたいという回答が多かった男性などをターゲットにして、少し活動してみてはどうかという意見があった。

### （3）3部会の今年度の取り組み（案）に対する質問や意見等

#### 《主な意見》

#### ①菜種の搾油について

- ・菜種油以外にごま油などもあるが、油の検討はしていないのか。ごまの場合は搾油できる量が非常に少ないと思うが。菜の花の取り組みを実施していると言われても、誰も見たことがないので、PRが不足しているのではないかと思う。
- ・菜の花はきれいだが、大きくなると根っこも大きくなり日陰ができて、下に植物が生えない。
- ・先日、専門部会でも、花を咲かせた後どうするのか、という意見が出ていたので、今後検討していきたい。（事務局）

## ②動植物の調査等について

- ・黒川地区の年間を通じた植生について調査をしているのか。部分的には、ボランティアが植生調査をやっているのではないかと思うが、全体的な植生調査は実施したことがあるのか、それとも今後実施する予定なのか。植生などは、基礎的なデータになるのではないかと思う。
- ・川崎市のデータと明大のデータ等とを照合すれば、それなりデータになると思う。ただ、どのような目的で何に活用するのかなど、データ作成の目的を考えるべきだと思う。

## ③はるひ野の住民との連携について

- ・はるひ野に新しく住み始めた人たちが自然豊かな黒川地域に愛着を持たないと地域全体が活性化していかないと思う。はるひ野の人たちとも連携し、巻き込むことが大事だと思う。
- ・地元の人をもっと巻き込むような企画があれば、PRしやすいと思う。

## ④企業連携について

- ・神奈川県では、里山の保全活動として、企業連携を勧めている。企業は、人的支援や、場合によっては、資金面での支援なども行ってくれる。対象範囲に小田急電鉄の駅があるので、小田急電鉄を協議会に巻き込むなどしたらどうか。
- ・今後のいろいろな取り組みに対して、小田急のネームバリューを活用し、協力してもらって、PR活動等を行えば、かなりの集客につながるのではないかと思う。
- ・小田急電鉄との連携は、ご検討いただきたい。

## ⑤その他

- ・各専門部会は新しい人が増えて議論が活発になり、具体的な意見が出て良かった。
- ・昨年度は、地元の方が全くわからない状況で進んでいたが、その後、説明会を3回ほど開催してもらい、地元としてもこの取り組みに関わるべきだという意見も活発に出てきた。いろいろな想いを持っている方はたくさんいる。地元の方たちも納得した上で、いろいろなことを進めていってもらえたら良いのではないかと思う。実際に、これだけ具体的な意見が出たのは良かったと思う。

## (4) 各専門部会の今年度の取り組み(案)の承認について

- ・各部会からの今年度の取り組み案が提示されたが、承認していただくということによろしいか。各部会では、具体的に進めていただいて、積極的に展開していけるところはして行って、必ず地元の方への説明を行うということをお願いしたいと思う。

以上